

# 有明高専だより

第11号  
有明工業高等専門学校  
〒836・大牟田市東萩尾町150  
Tel 09445 ③ 1011  
印刷・西田印刷所

ゆたかな創造力を

## —総合実習センター（仮称）の構想—

△今わが国の工業は、その生産能力においても技術水準においても、世界の最高グループにあります。しかし、工業資源が少なく、かつ外国特許などへの依存度の高い現状をかえりみるとき、われわれが真正に必要とするものは創造力でありしかも高専教育に対しては、その創造力を身につけることが社会から求められています。

また工場・事業場では、電気も機械も、建築も工業化学も、それらの技術者は、他の分野の技術についても十分な理解へ努力す

かに専門委員会を設けて昭和四年五月以来その具体案を練って参りました。ここにその一部を説明します。月と、現在日本の工業界が求められる高専が求められているものとの関連を述べたいと思います。

総合実習センターの中心的位置にあるものは工作工場・電算機でこれを中心としてその周辺に環境工学部門・材料部門・工業化学部門・試作試験部門をおき、それそれを工作工場・電算機と連結しま

野との協力が必要であり、その必要度は今後ますます増大します。  
また現在の高専では、学生は希望にもって入学しながら、在学中落伍するものが多く、これは本人の不運はもちろん、これでは多くの優秀な技術者を求めている現在社会の要請にむけたえることがで

これらの諸問題を解決すること  
は、もちろん容易ではありません  
が、私共は有力な対策として、總  
合実習センター（仮称）という從  
来全くなかったものを企画し、有  
明高專のビジョンの一つとしてか

（仮称）の構想——

校長 藤 一 郎

かけ、専門委員会を設けて昨年四月以来その具体案を練って参りました。ここにその一部を説明しさうにこのセンターが目的とするものと、現在日本の工業界が求められるいは高専が求められているものとの関連を述べたいと思います。

総合実習センターの中心的位置にあるものは工作工場・電算機で、これを中心としてその周辺に環境工学部門・材料部門・工業化学部門・試作試験部門をおき、それぞれを工作工場・電算機と連結します。

たとえば工業化学部門では、メタノール蒸溜装置を第一次計画に予定していますが、装置の据付・改造・修理は工作工場で、自動制御は電算機と連結して行ない、その運転・計測・自動制御は C・E・M の各学科の学生の協力により、その修理・改造は M・C で、E の学生の協力によって行ないます。

また環境工学部門では、第一次計画に風速 20 m/s の環境洞室を予定していますが、風洞の据付・改造・修理・試作は工作工場で、自動計測は電算機と連結して行ないます。

また環境工学部門では、第一次計画に風速 20 m/s の環境洞室を予定していますが、風洞の据付・改造・修理・試作は工作工場で、自動計測は電算機と連結して行ないます。

この構想の実現には、地盤調査、地形モデルの製作は A・M・C 自動計測は E・C・M の各学科の協力によって行ないます。

なお、とりあげるテーマは、地域と関係の深い問題になります。これらの装置の改善・修理や、電算機による計測・制御についてのソフトウェアの開発は、教官の助言のもとに学生の創意と工夫によるます。

工作工場では E・C・A いすれの学科の学生も旋盤・溶接などが自分でできるよう訓練して、装置の据付・修理などの工作は学生自らの手で行なるように考えています。

第一次以降の計画も立案中であります。が、このような総合実習センターが設置され、活発に運営されるならば、現在および明日の日本に最も必要であり、高専教育に求められている創造性の開発には大いに役立つと考えます。

また同一の装置を真っ当な学科の学生が、しかも上級生・下級生が共同で取扱うため、学科間の理解と協力がおのずから出来、同時にグループ活動におけるチームワークとリーダーシップの養成も行なわれます。

学生はまづから運転し、計測し検討し、その結果によって装置の改修計画と工作まで行なうので、実践学でえたものを実践によって体得するとともに、学間に眞の興味

有は極めて少なくなると考え るものでありますから、この計 画は、セントラルの運営など幾多 の問題はあると悟っていますが 専門の発想にもとづく獨得の 力であり、これを本校の目 的としてかかげ、粘り強く実現と 的の運営に向かって努力をつ いたいと考えます。
職員の努力と後援会・卒業生 他関係ある方々の御後援を期 るものであります。
×                    ×
技術科学大学院(仮称) について
卒業は実践的な工学教育であり 教育であるが、卒業後さらに 出た研究を希望する者のため 院の設立が要望されていた たび設立のための調査費の見 つけ、実現の可能性も大き た。現在まで検討された概 次のとおりである。
士資格は高専卒業程度の学力 を基準とし、特に推薦を重 て、修業年限は四年。 研究の基本構想
Learning by doing educate himself
卒業式 卒業式 卒業式
卒業試験 後期末試験 定期演奏会 吹奏楽部第四回
4 · 8 13 · 19 10 · 19 始業式 入学式 新入生オリエンテ ーション(九重・ 国際大学共同研修 所) 開校記念日 球技大会 前期中間試験 特別講義 父兄との懇談会 夏休み(8月31まで) 第8回九州地区 高專体育大会 (佐世保高專) 全国高專体育大会 (東京) 体育祭 前期末試験 後期始業 高專禁 第8回九州地区 高專冬季体育大 会(佐世保高專) マラソン大会 下宿主との懇談会 球技大会 後期中間試験 冬休み(1月おひこ) 定期演奏会 吹奏楽部第四回
3 · 2 · 10 · 7 22 · 8 · 16

卒業式		定期演奏会		卒業試験		後期未試験		定期演奏会		吹奏楽部第四回		球技大会		父兄との懇談会		特別講義		前期中間試験		球技大会		開校記念日		所)		新入生オリエンテ		留学生(昭和47年度)	
22	8	3 1 7	2 10 16	27	25	25	18 23	13	3	12 3	11 3 5	10 4 11	9 15 24	8 23 24	7 17 20	6 16 22	4 29 20	13 19	10	4 8	始業式	入学式	新入生オリエンテ	留学生(昭和47年度)					

學生相談室

101までを基盤

学生諸君は、一寸したゆきつまりからぬ等感、無力感などに陥りやすい。これはむしろ成長している証拠だといってよいかも知れないしかし問題をかかえている本人に、たっては、それが克服できないときの悩みは大きく、時にはそのために大きな不幸を経験しなければならないときもある。このようなときは担任の先生がまず相談に応するが、

時 場 所 カンセラ一室  
週 水 15時へ17時  
休 保 障 カンセラ一室  
室 場 所 カンセラ一室  
性 の問題等。(九大・安藤助教授  
の講演・要旨九号所載参照)  
この相談は、土月十五日か  
学年課長室を假りの相談室として  
すでに教人が来ている。

るオリエンテーションは次のように  
に計画されている。

▽期日

A班 4月13日～15日  
B班 4月17日～19日  
(機械・電気・化学・建築各学  
科別 班を編成する)

▽場所

国立大学九重共同研修所(大分  
県玖珠郡九重町筋湯)にて各班  
一泊三百の合宿。

▽行事

オリエンテーション・学科別ミ  
ーティング・自己紹介・レクリ  
エーション・登山・九重大断崖地  
熱発電所見学・映画鑑賞など、  
▽経費  
宿舎料・間食費などが個人負担  
で、交通費(音切バス)その他  
学校が負担する。

▽回顧と展望

木校における新人学生のオリエ  
ンテーションのねらいは、彼らに  
何よりもまず、新しい高専での學  
生生活の目標を設定させることで  
あった。昭和44年度から実施し、  
すでに三年間の実績を積んできた  
現在、その成果はどうであったか  
という反省とともに、これからどう

うテーマとともに取組む方法がありそうだ。」（有志団体の創刊号所収）といふ事が出された。この点の解決の学生と対食事をともにして論じて機会を増し、高事が何を与くれるだらうという漠然たる待をもつて自身的な姿勢ではないか。高専から何を学び得るべいかう能動的・主体的な心構えであるといふことを把握させようとして計画を立ててみた。そしてねらいは、一応の成果を得たに思える。

意見ためあらわすのいふこと。意見を述べるときの期間に、意見を述べるために必要なべきのいふこと。

旭 同 同 光 硝 同 興 同 旭 同 旭 同 旭 同 旭 同 旭 同 旭 同 旭 同 旭 同

子學化機產品業機素自動車コリ重機械

M M C E M M C C M C E M C E M C M C M M M C C E M C C M M C  
 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

圖一 圖二 等腰梯形用臘金色紙裁成，底底處開兩扇門，上上部開兩扇窗。

機械工場所事務機器電器暖冷

E E M E M M C C M C C M E C M E C E M E C E C M E M C M E

社名 科 ①②③



# 学界通信

三唱しに散会した。(務務主事)

## 同窓通信

一月三日

(日) 午前九時三〇分より本校グラウンドにおいて恒例の第三回春生サッカー大会が開催された。各棟毎に編成した一四チームの間で競争争った結果、優勝銀杏桜一階、準優勝銀杏桜二階、三位紅葉桜一階の順となった。当時は、寒中とは思えないほど穏かな暖かい絶好のスポーツ日和に恵まれ、若者の意気をもって、グラウンドいっぱい競技をくりひらけ、午後一時三〇分、無事、終了した。午後二時より武道館において表彰式に移り、優勝、準優勝、三位にそれぞれカップ、楯、その他の授賞があり、お互いの健闘をたたえあった。

今年から冬季大会は、従来の日程(12月26・27日)を繰り上げ、11月22・23日(ラグビー優勝戦は28日)に行なつこととなつた。日程の繰り上げのため、ラグビーサッカー競技は久留米専門部グラウンドで熱戦が展開された。本校チームの戦績は次のとおりである。

△ラグビー競技  
試合は有明・久留米戦で開始された。式後、久留米専門部選手による各役への力強い激励があり、ラグビー競技は久留米専門部グラウンド、サッカー競技は久留米大学専門部グラウンドで熱戦が展開された。本校チームの戦績は次のとおりである。

今大会は晦日の好天に恵まれ、久留米専門部で開会式が催された。その後、久留米専門部選手による各役への力強い激励があり、ラグビー競技は久留米専門部グラウンド、サッカー競技は久留米大学専門部グラウンドで熱戦が展開された。本校チームの戦績は次のとおりである。

△ラグビー競技  
試合は有明・久留米戦で開始された。式後、久留米専門部選手による各役への力強い激励があり、ラグビー競技は久留米専門部グラウンド、サッカー競技は久留米大学専門部グラウンドで熱戦が展開された。本校チームの戦績は次のとおりである。

## 九州地区体育季大会

久留米		有明	
0 T 14	2 1	0 T 14	2 1
前 T G 1	前 T G 1	后 T G 1	后 T G 1
0 0	0 0	18	32
0 計 32	0 計 32		



左より ① E 4 荒牧 (25分45秒)  
② C 4 上野 ④ M 4 布志木  
③ M 3 江頭 ⑥ C 1 井上

### ▽サッカー競技

試合が終わるまで、負け

しかし、無得点といつ結果

は完敗といつよい

対戦相手の北九州は、イ

レブンを上級で始めた試

合の上手な好チームであ

た。本校の弱点は相手から

先手をとられると、フレンが浮き

足だつてしまつた。これは気

力だけの問題ではあるまい。今後

もっと試合経験を豊かにして、自

信をつけさせることに努めねばな

らない反省した。幸いにも現住のことは、あらかじめ判つてい

たので、当日はいかにこの強敵に

ノートライの完敗となつた。しか

く、試合終了まで、選手一同タッ

クを落す敗戦したことは認め

てよからぬ。今後は、このような試合を通じて、練習試

で得たものを良悪として、練習試

合に恵まれぬ不利を何とか克服し

てよからぬ。

今後は、このような試合を通じて、

このよからぬと思つてある。

戦績は次のとおりである。

△サッカー競技

試合が終わるまで、負け

しかし、無得点といつ結果

は完敗といつよい

対戦相手の北九州は、イ

レブンを上級で始めた試

合の上手な好チームであ

た。本校の弱点は相手から

先手をとられると、フレンが浮き

足だつてしまつた。これは気

力だけの問題ではあるまい。今後

もっと試合経験を豊かにして、自

信をつけさせることに努めねばな

らない反省した。幸いにも現住

のことは、あらかじめ判つてい

たので、当日はいかにこの強敵に

ノートライの完敗となつた。しか

く、試合終了まで、選手一同タッ

クを落す敗戦したことは認め

てよからぬ。

今後は、このような試合を通じて、

このよからぬと思つてある。

戦績は次のとおりである。

△サッカー競技

試合が終わるまで、負け

しかし、無得点といつ結果

は完敗といつよい

対戦相手の北九州は、イ

レブンを上級で始めた試

合の上手な好チームであ

た。本校の弱点は相手から

先手をとられると、フレンが浮き

足だつてしまつた。これは気

力だけの問題ではあるまい。今後

もっと試合経験を豊かにして、自

信をつけさせることに努めねばな

らない反省した。幸いにも現住

のことは、あらかじめ判つてい

たので、当日はいかにこの強敵に

ノートライの完敗となつた。しか

く、試合終了まで、選手一同タッ

クを落す敗戦したことは認め

てよからぬ。

今後は、このような試合を通じて、

このよからぬと思つてある。

戦績は次のとおりである。

△サッカー競技

試合が終わるまで、負け

しかし、無得点といつ結果

は完敗といつよい

対戦相手の北九州は、イ

レブンを上級で始めた試

合の上手な好チームであ

た。本校の弱点は相手から

先手をとられると、フレンが浮き

足だつてしまつた。これは気

力だけの問題ではあるまい。今後

もっと試合経験を豊かにして、自

信をつけさせることに努めねばな

らない反省した。幸いにも現住

のことは、あらかじめ判つてい

たので、当日はいかにこの強敵に

ノートライの完敗となつた。しか

く、試合終了まで、選手一同タッ

クを落す敗戦したことは認め

てよからぬ。

今後は、このような試合を通じて、

このよからぬと思つてある。

戦績は次のとおりである。

△サッカー競技

試合が終わるまで、負け

しかし、無得点といつ結果

は完敗といつよい

対戦相手の北九州は、イ

レブンを上級で始めた試

合の上手な好チームであ

吹奏樂

第3回定期演奏会をの盛況で、9時15分演奏を終えました。

来年1月27日の第4回へ向ってす  
ぐに出発したいと思つています。

えるのは、おこがましいことでしょ  
うか？ 本当は展示などはずか

角、下手でも、何か胸にジーンと  
感じる。そういう人達の入部を待

当日、風邪、腫物などのために  
献血出来なかつた者は止むを得な



吹奏樂 第3回定  
期演奏会を  
の盛況で、9時15分演奏を終えました。  
1月29日6時15分から大牟田市民  
会館で催しました。折悪しく雨演  
前に雨が降り出しましたが、客も  
るほどもなく、前2回同様、満員  
とおめの言葉を何人の方々から  
もら頂きました。しかし、私達部員は  
格段、とは思っておりません。少し  
音がきれいになったと自負して

来年1月27日の第4回へ向こす  
ぐに出発したいと思つてゐます。  
なお聴衆の方々からは、百通ある  
まのアンケートの回答を頂きました  
した。ほとんどの方が腰と見守  
て下さっています。感謝いたしま  
す。

えるのは、おこがましいことじどうか。本当は展示などほしからしくてだまないような作品ですがどうか、あややかながら努力していることを知つてほしいのです。そのうちに「あの隕は、よくもまあ、あんなものを、人前に」

角下手でも、何か胸にジーンと感じた。そういう人達の入部を待つことになる。

美術部は、部という組織にならぬ同志の団体でありたい。美術の本質から言って、そうあることが当然だと思っている。新し

当日、風邪、腫物などのために献血出来なかつた者は止むを得ないとしても、本人の熱意にも拘らず、血液の比重不足で、採血不適となつた者もいたが、これは Rh マイナス型の人が発見されたことになどとともに、今後の健康管理上

ローランド前奏曲	指揮 吉武紀道
成層圏	ク
おてもやん・もぐの追い	
ページメント序曲	
Ⅱ部	
クラリネット協奏曲第3楽章	
アンサンブルスケルツォ	
序曲 石の庭	
交響曲第5番 第4楽章	
ワーグナー	指揮
フランキサ	ク
小山蘿芳	
ブレスティ	
モーツアルト	
チャイコフスキイ	
橋田鉄之扶	
ショスタコーヴィッチ	
古賀幸利	
穴山 健	
吉賀幸利	
Ⅲ部	
愛のテーマ・モリタートほか	

も、自分達の力だけでは、書道の奥儀をきわめることは不可能だと感じ、どこか近隣の書家を依頼して、御指導をねがおうと、石橋先生にお願いして、適当な人をさかがってもらっています。私達も、書道部の存在を少しでも知らねばなりません。美しい字や、おもしろい字で、学校の雰囲気を少しでも引き立たせたいからこそ書道部の展示を月に一度、くらいの頻度で行っています。

小西君を励もう!!

山西裕司昌(30)は昨年1月12日柔道練習中に頭部を打撲し意識消失へ入院しました。5月初旬から陰性意識の回復は見えていたが現在は八八度室温覚醒病院にて療養中です。現在麻痺は右半身不全、右眼視力殆んど失せ、音語障害あり、老人性白髪の顔立ちに近いことながら毎日午前中は医師の診察を受け午後治療室で理学療法、リハビリテーションの日課は從々頑張っています。→医師人選は小西君の希望通りです。

い。技術の手は間わない。とにかく上等な医師がいる。これが何よりも大事だ。

夕による採血が行われた。  
とがむる。名前はリカルド・モーリーさん。  
夕に於ける採血が行なわれた。  
夕による採血が行なわれた。

美術 為の技術と 絵を描く

少なくなった。これは、ひとえに吾校の文化水準が下がったことを意味する。同胞よ、危険思想を、腹に秘めて、何時でも飛び立てるよう身構える。

概めて少なかつたことは實に殘念である。尚、献血の実態は献血であり、全國共通にそれを使用出来る権利を与えられることを附記しておく。

編集室より  
▽立派な図書館の竣工も近い。  
いかに有效地に利用するか。  
▽建築料も完成年度。十年以後  
の充実のため、冒頭の校長掲負  
の推進を基本路線にしたい。  
▽前日の雨でグラウンド不良の  
ため球技大会は残念ながら中止  
▽二月には同窓生五百名。同窓  
会館兼宿舎所建設を提案する。  
▽二月十四日校長、学生代表、  
後援会長が小西君を見舞い、募  
金総額六十二万一千八百円を贈  
った。早期回復を祈る。  
▽本誌も満三年。ミニ校史とい  
う特色も安定したようだ。年度  
が変わり、校内新風のさきがけ  
となることを期待するや切。